

50000

ZOOM DRIVER

ズームドライバー

オペレーションマニュアル

ごあいさつ

このたびはズームドライバー5000（以下“5000”と呼びます）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。5000は以下のような特長を備えた製品です。

- オーバードライブ/ディストーションにはアナログ回路を採用していますので、音痩せのない自然なサスティンやディストーションが得られます。
- ギターアンプの音色と箱鳴りをDSP（デジタルシグナルプロセッサー）でシミュレートした、6タイプのサウンドバリエーションを装備。アンプの種類を問わず、常に理想の音色を作ることができます。
- 幅広いレンジを持つ各コントロールノブにより、軽いオーバードライブからハードなディストーションまで、自在な音作りが可能です。
- 従来のコンパクトエフェクターにはなかったプログラムモードを備え、任意の設定をメモリーすることができます。
- DSPを使用したノイズ軽減システムZNR（ズーム・ノイズ・リダクション）搭載により、ギター入力音がないときのノイズを抑えることができます。
- ラインで使用しても十分な音圧感のある音作りが楽しめます。
- オプションのフットスイッチFS01を使うことにより、ライブなどでの操作性をさらに向上させることができます。

5000の機能をよく理解し、未永くご愛用いただくために、このマニュアルをよくお読みくださるようお願いいたします。

目次

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
はじめに	5
各部の名称と機能	6
フロントパネル	6
リアパネル	8
右サイドパネル/左サイドパネル	9
5000の接続	10
5000の設定について	11
マニュアルモードの音色の設定	11
プログラムモードの音色の設定	12
5000本体を使って音色を設定する	12
FS01を使って音色を設定する	13
カラーのバリエーションについて	15
プログラム/マニュアルモードの活用法	16
仕様	17
セッティング例	18
blankチャート	20

安全上のご注意

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

電源について

5000の電源には単3乾電池6本またはACアダプターAD-0003(別売)を使用します。これ以外のACアダプターでご使用になりますと、故障や誤動作の原因となり、危険ですからおやめください。

電源電圧が標準以外の地域(たとえば国外)で、5000をACアダプターでご使用になる場合は、必ずZOOM製品取り扱い店に相談して適切なACアダプターをご使用ください。

使用環境について

5000をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでお避けください。

- 寒暖の激しいところ
- 湿度が極端に高いところ
- 砂やほこりの多いところ
- 振動の多いところ

取り扱いについて

5000は精密機器です。スイッチ類に無理な力を加えないようにしてください。必要以上に力を加えたり、落としたりぶつけるなどの衝撃を与えると、故障の原因になります。

改造について

ケースを開けたり、改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。

改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負い兼ねますのでご了承ください。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

ケーブルを接続する際は、本機及び各機器の電源スイッチを必ずオフにしてから行なってください。本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行なってください。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

5000はデジタル回路を多く使用しているため、近くのテレビやラジオに雑音が生じることがあります。この場合は十分に距離をおいて設置してください。また5000の近くに蛍光灯やモーター内蔵の機器があると、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。クレンザー、ワックス、およびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、接続ケーブル類をはずしてください。

「製品の型名」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

5000の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ご購入された販売店で必ず保証書の手続きをとってください。

万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理致しますのでお買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書にお買い上げの年月日、販売店名の記入がない場合。
3. お客様の取り扱い方法が不適当のために生じた故障の場合。
4. 当社の指定業者以外の手により修理、改造された場合。
5. 故障の原因が本製品以外の、他の機器にある場合。

6. お買い上げ後に製品を落としたり、ぶつけるなど、過度の衝撃による故障の場合。
7. 火災、公害、ガス、異常電圧、および天災(地震、落雷、津波など)によって生じた故障の場合。
8. 消耗部品(電池など)を交換する場合。
9. 日本国外でご使用になる場合。

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行ないます。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

はじめに

ここで5000の働きについて簡単に説明しておきましょう。また5000ならではの用語についても説明していますので、すでに各種のエフェクターを活用している方もひととおりの目を通しておいってください。

マニュアルモードとプログラムモード

5000には、各コントロールの現在の設定による音色を出力する機能と、現在の設定に関係なく、あらかじめ5000の内部に記憶させておいた設定による音色を出力する機能があります。現在の設定を出力する状態をマニュアルモード、記憶させておいた設定を出力する状態をプログラムモードと呼びます。この2つのモードを使って、2種類の音色を駆使したプレイが楽しめます。

カラー

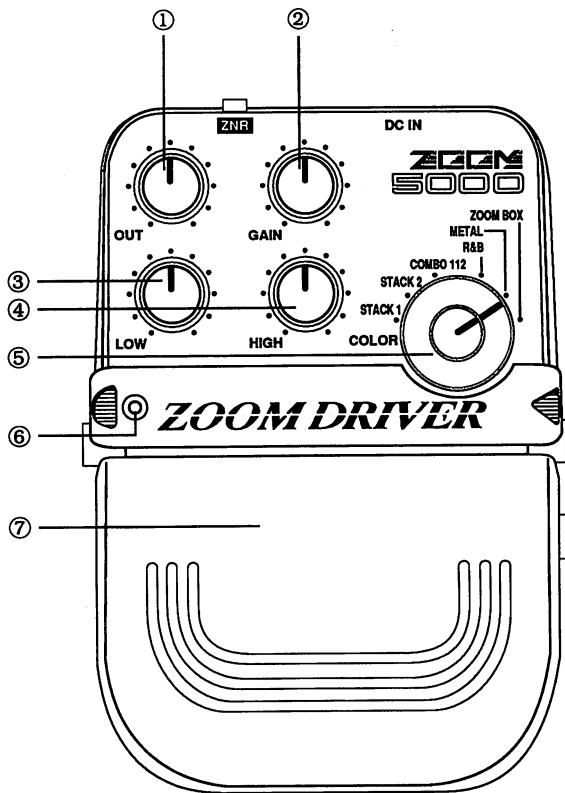
5000にはカラーと呼ばれる、それぞれ違ったタイプのアンプや音色をDSPを使ってシミュレートした6種類のサウンドバリエーションが搭載されています。5000で音色の設定を行うときに、カラーコントロールでどれを使うかを選びます。

ZNR (ズーム・ノイズ・リダクション)

ZNRはDSPを使用したノイズ軽減システムで、入力信号がないときのノイズを抑えることができます。リアパネルにあるZNRコントロールで調整を行います。

各部の名称と機能

フロントパネル



① アウトプットレベルコントロール (OUT)

出力音のレベルを調節します。

② インプットゲインコントロール (GAIN)

入力音のゲインを調節します。右に回すほど歪み量が大きくなります。このレベルを調節することによって、ソフトな歪みから、過激な歪みまでコントロールすることができます。

③ ローレベルコントロール (LOW)

ロー (低域) のレベルを調節します。右に回すほど低域が強調され、太くヘビーな音になります。

④ ハイレベルコントロール (HIGH)

ハイ (高域) のレベルを調節します。右に回すほど高域が強調されます。

⑤ カラーコントロール (COLOR)

音色のタイプを選択します。それぞれのタイプの詳しい説明は15ページをご覧ください。



①～⑤はバイパス状態では効果はありません。

⑥ パワーLED

電源オンの状態を表すインジケータです。マニュアルモードのときは赤、プログラムモードのときは緑に点灯します。ただしバイパス (ギターのダイレクト音のみを出力する状態) のときは点灯しません。

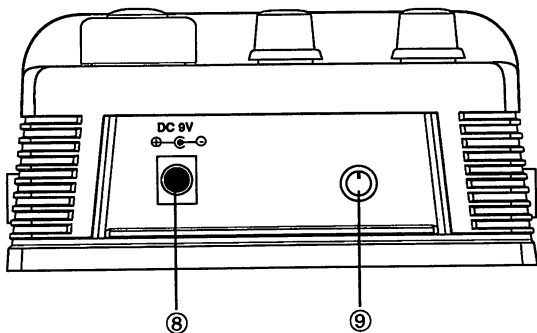


電池が残り少なくなるとパワーLEDが点滅を始めますので、早めに電池交換をしてください。電池の寿命は、マンガン電池使用時で約5時間、アルカリ電池使用時で約10時間です。

⑦ ペダルスイッチ

バイパス時の切り替えや、マニュアルモードとプログラムモードの切り替えに使用します。

リアパネル



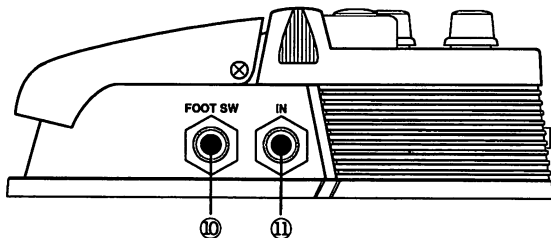
⑧ ACアダプター端子

オプションのACアダプターAD-0003を接続する端子です。

⑨ ZNRコントロール

ZNRが作動するレベルを設定します。右に回すほど作動するレベルが上がります。

右サイドパネル



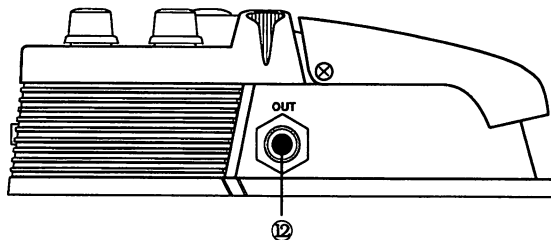
⑩ フットスイッチ端子

オプションのフットスイッチFS01を接続する端子です。

⑪ インプット端子

ギターを接続する端子です。この端子にケーブルを接続すると、自動的に電源がオンになります。

左サイドパネル



⑫ アウトプット端子

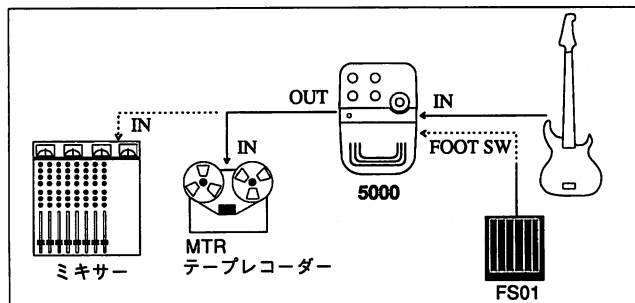
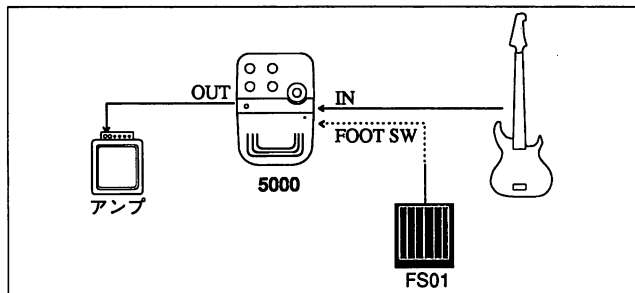
ギターアンプやPAシステム、レコーディングミキサーの入力部などに接続する端子です。



5000の底面にはバッテリーケースがあります。バッテリーケース内に示された極性に従って乾電池（単3×6本）を収納してください。

5000の接続

楽器の出力を5000のインプット端子に、5000のアウトプット端子をアンプ、ミキサーなどに接続してください。



ご使用にならないときは、ケーブルを5000のインプット端子から抜いてください。接続したままにしておくとバッテリーが消耗します。

5000の設定について

5000には各コントロールの設定をそのまま出力するマニュアルモードと、内部にメモリーされた設定を出力するプログラムモードがあります。ここでは各モードでの音色設定、モードの切り替え方法などについて説明します。

マニュアルモードの音色の設定

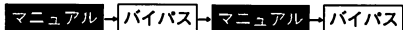
まず一般的な使い方であるマニュアルモードでの音色の設定について説明します。

1. インプット端子にケーブルを接続するとパワーLEDが赤く点灯します。これは5000がマニュアルモードであることを示します。各コントロールはセンターの位置に合わせておき、楽器を弾きながら調節を行ってください。
2. カラーコントロールで音色のタイプを選択します。タイプによる詳しい説明は15ページをご覧ください。
3. インプットゲインコントロールで歪み量を調節します。
4. アウトプットレベルコントロールで音量を調節します。
5. ハイレベルコントロールで高域レベルを調節します。
6. ローレベルコントロールで低域レベルを調節します。
7. 必要に応じてZNRを調節します。ZNRコントロールをノイズが消えるまで右に回してください。

これで、マニュアルモードでの音色の設定ができました。

エフェクトチェンジ

ペダルスイッチを踏むと、次のようにモードが変化します。



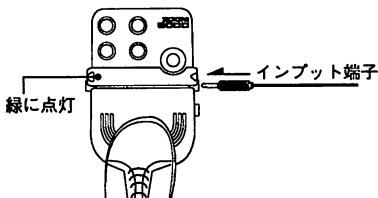
NOTE ZNRはバイパス状態では作動しません。

プログラムモードの音色の設定

プログラムモードは、5000の内部にメモリーしておいた音色を出力するモードです。マニュアルモードと合わせて、2種類の音色を使い分けたプレイが楽しめます。また、オプションのフットスイッチFS01を使用するとさらに自由なモードの切り替えを行うことができます。

5000本体を使って音色をメモリーする

1. 5000のペダルスイッチを踏みながらインプット端子にケーブルを接続します。パワーLEDが緑に点灯し、5000がプログラムモードであることを示します。



2. マニュアルモードと同様に、各コントロールで音色を調節します。
3. もう一度ペダルスイッチを踏むと、音色がメモリーされます。このあとパワーLEDは消灯し、5000はバイパス状態になります。これでプログラムモードの音色の設定ができました。プログラムモードに入ったときは、常に、この音色が出力されることになります。以後、電源をオフにしてもこの設定は消えません。



プログラムモードでは、プログラムモードに入ってから動かされたコントロールのみがメモリーされます。
また、メモリーするときに音切れを起こすことがありますが、故障ではありません。

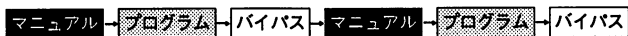
4. もう一度ペダルスイッチを踏むとパワーLEDが赤く点灯し、5000はマニュアルモードになります。ここでマニュアルモードでの設定を行います。好みの設定を各コントロールで行ってください。

これでプログラムモードとマニュアルモードの設定ができました。

ペダルスイッチでモードを切り替えると、マニュアルモードのときはコントロールの位置どおりの音色が出力され、プログラムモードのときはコントロールの位置とは関係なく、内部にメモリーされている音色が出力されます。

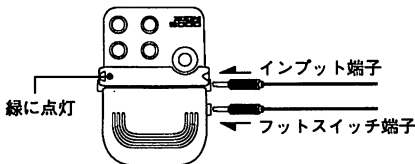
エフェクトチェンジ

ペダルスイッチを踏むと、次のようにモードが変化します。



FS01を使って音色をメモリーする

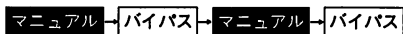
1. 5000本体のフットスイッチ端子にFS01を接続し、インプット端子にケーブルを接続します。パワーLEDが緑に点灯し、5000がプログラムモードであることを示します。インプット端子にケーブルを接続してからFS01の接続を行っても、プログラムモードとなります。



2. 好みの設定を各コントロールで行ってください。
3. 本体のペダルスイッチまたはFS01を踏むと、音色がメモリーされます。このあとパワーLEDは消え、5000はバイパス状態になります。
4. バイパス状態からペダルスイッチを踏むと、パワーLEDが赤く点灯し、5000はマニュアルモードになります。ここでマニュアルモードの音色の設定を行います。好みの設定を各コントロールで行ってください。

エフェクトチェンジ

ペダルスイッチを続けて踏むと、次のようにモードが変化します。



FS01を続けて踏むと、次のようにモードが変化します。



ペダルスイッチとFS01を交互に踏むと、次のようにモードが変化します。



(ペダルスイッチを踏むとマニュアルモードとなり、FS01を踏むとプログラムモードとなります)



バイパス状態からペダルスイッチを押すとマニュアルモードとなり、FS01を踏むとプログラムモードとなります。

プログラムモードの設定を変更するときは、5000がプログラムモードのときに各コントロールを変更し、ペダルスイッチかFS01を踏めば、新しい設定がメモリーされます。

カラーのバリエーションについて

カラーは6種類の中から選ぶことのできる、ギターアンプの大きさと音色のシミュレーションです。チューブアンプの甘い歪みから大型アンプの過激な歪みまでをシミュレートし、さらにズーム9002のディストーションを再現することもできます。

STACK 1 大型アンプをフルアップにしたようなサウンドです。低域をブーストすることによりその音圧までも再現しています。特にライン接続での使用にもおすすめです。

STACK 2 STACK 1のアンプのサイズを小型にしたシミュレートサウンドです。

COMBO 112 中型のアンプをシミュレートしたサウンドで、甘いトーンが特徴です。

R&B ブルージーなサウンドです。歪み量の調節により、トラディショナルなブルーススタイルからハードなブルーススタイルまで表現することができます。

METAL 過激なディストーションサウンドをシミュレートしています。音抜けのよいサウンドキャラクターです。

ZOOM BOX ズームが誇る、独自の回路構成による「9002」のディストーションをそのまま搭載した、オリジナルのサウンドキャラクターです。特にライン接続での使用にもおすすめです。



5000の音色作りでは、1つのカラーの中だけでも、インプットゲインによる歪み具合、ハイレベル、ローレベルのコントロールによるトーンの調節などで多彩な変化をつけることができます。カラーの名称にこだわらず、いろいろなサウンド作りにトライしてみてください。

プログラム/マニュアルモードの活用法

プログラムモードとマニュアルモードを使い分けることによって、下記のようなさまざまな応用が考えられ、特にライブなどで威力を発揮します。ここで挙げるもののほかにも、ご自分でいろいろトライしてみてください。

1. リード向けとバックアップ向けの音量切り替え

アウトプットレベルをマニュアルモードで小さめに、プログラムモードで大きめに設定しておき、マニュアルモードをバックアッププレイ、プログラムモードをリードプレイに使用します。

2. 曲によるカラー切り替え

マニュアルモードとプログラムモードのカラーを変えて設定しておけば、曲（たとえばハードタイプの曲とバラードタイプの曲）によって、弾き分けることができます。曲調に合わせてディストーション系とオーバードライブ系で切り替えることもできます。

3. 曲によるハイレベル、ローレベルの切り替え

ハイレベルコントロール、ローレベルコントロールをマニュアルモードとプログラムモードでそれぞれソフトな感じ、ハードな感じに設定しておきます。モードを切り替えたとき、歪みのタイプを変えずにニュアンスの違いを出すことができ、同系統の曲を演奏するときなどに便利です。

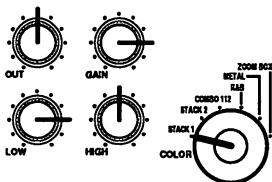
4. ゲインレベルの切り替え

ゲインレベルをマニュアルモードは0～2、プログラムモードは8前後に設定しておきます。アルペジオ奏法とリフ奏法の使い分けに活用できます。

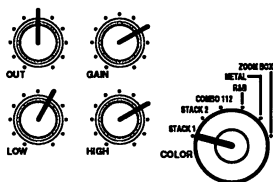
仕様

電源：	単3乾電池6本（付属） ACアダプターAD-0003（オプション）
消費電流：	110mA
コントロール：	インプットゲイン、アウトプットレベル、 ハイレベル、ローレベル、 カラー、ZNR
インジケーター：	パワーLED（エフェクトオン／オフ、モ ード表示、バッテリーチェック兼用）
端子：	インプット、アウトプット、 フットスイッチ
入力インピーダンス：	470K Ω
出力インピーダンス：	620 Ω
外形寸法：	116mm(W)×160mm(D)×57mm(H)
重量：	880g（電池込み）

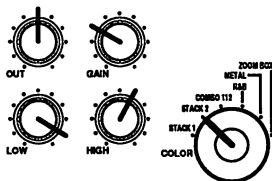
セッティング例



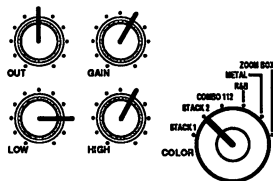
Hard Rock 1



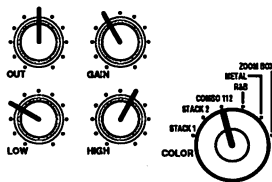
Hard Rock 2



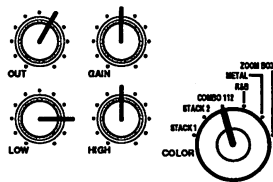
Old American Rock



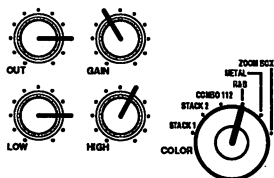
L.A. Studio



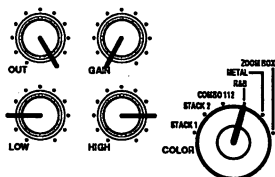
Fusion 1



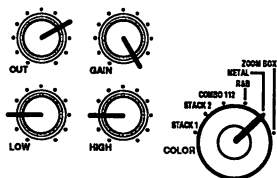
British Rock



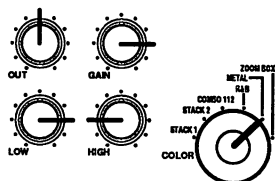
70's Blues



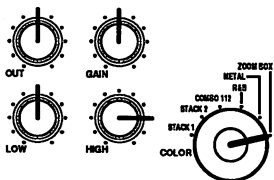
Heavy Funk



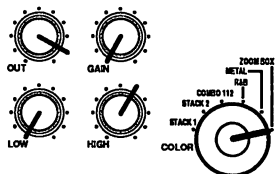
Half Wah Sound



British Progressive Rock

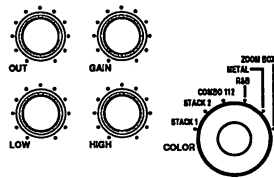
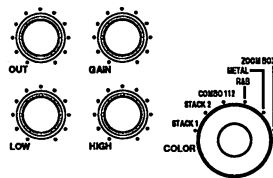
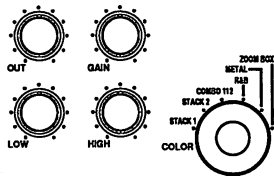
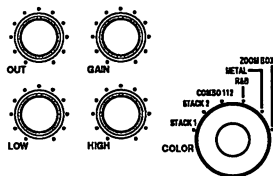
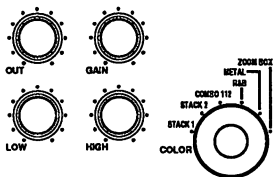
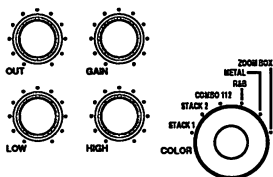


Fusion 2



60's Rock

ブランクチャート



The logo for ZOOM is rendered in a bold, stylized, black font. Each letter is composed of multiple parallel lines, creating a sense of depth and movement. The 'Z' and 'O's are particularly prominent, with the 'O's having a central vertical bar.

High-Tech Tools for Artistic Expression

株式会社ズーム

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-11-2

1-7F 岩本町二丁目ビル2階

TEL:03-5835-2200 FAX:03-5835-2201

ホームページ: www.zoom.co.jp

Printed in Japan 5000-5010
